

氏名： 塩満 典子 (SHIOMITSU Noriko)
所属： 学長室
職名： 教授・学長特別補佐
学位： 修士 (公共政策学、ハーバード大学行政大学院)
専門分野： 行政学、ジェンダー学
E-mail： shiomitsu.noriko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

科学技術政策／男女共同参画／イノベーション／安全規制／研究倫理
science & technology policy / gender equality / innovation / safety regulation / research ethics

◆主要業績

総数 (12) 件

- ・研究資金獲得法 (塩満典子・室伏きみ子共著, 丸善, 2008.11)
- ・「女性研究者の活躍促進・支援—科学技術分野の研究活動の活性化と国際競争力強化を目指して」(共同参画, 第6号, pp.4-5, 内閣府男女共同参画局, 2008.10)
- ・「女性研究者を応援します! —女性研究者の活躍推進のための取組事例—」(内閣府男女共同参画局パンフレット作成協力, 2008.9)
- ・「知的基盤社会における女性の活躍に向けて—科学技術分野における現状と課題—」(アジア女性研究, 第18号「科学とジェンダー—主体として、対象としての現在—」, pp.1-15, 2009.3)
- ・「女性研究者を取り巻く現状と支援の取組について」(フレンジみえ, 男女共同参画ゼミ, 三重県男女共同参画センター, 2009.3)

◆研究内容 / Research Pursuits

- (1) 科学技術分野における男女共同参画の現状と課題
国際的に見て我が国の女性研究者割合の少なさ、上位職に就くことの困難性等は顕著であるため、その要因分析・対応施策 (支援策の規模・種類) の検討を行うとともに、PISA 調査に見られる学習到達度の性差及び女子の理工系進路選択に係る態度・環境要因の分析等を行い、国際的な WISE (Women Into Science and Engineering) 活動との対比・充足度の検討を行う。
 - (2) 若手研究者の自立のための環境・制度の分析及び必要施策に係る考察を行う。
 - (3) イノベーションに資するシステム改革と政府研究資金の動向を分析する。
 - (4) 科学技術分野の安全規制に係るコンプライアンスとリスク・コミュニケーションについて事例分析を行う。また、組織内における価値観・研究者倫理と社会通念の差異についての考察も併せて行う。
- (1) Current status and future of gender equality in science and technology
It is internationally well-known that the percentage of female researchers of Japan is very low with comparison to those of EU and United States. It is also true that female researchers have difficulties to be promoted to professors or other leading positions. I study reasons for those and necessary countermeasures, and make the international comparative analyses on the differences in science and math literacy and motivation between girls and boys, and on-going WISE (women into science and engineering) activities.
I also study the followings:
 - (2) Environment and system for the young scientists to conduct independent research to obtain tenure
 - (3) System reformation and resource allocation to enhance innovation
 - (4) Safety regulation and risk communication in science and technology
 - (5) Professional ethics of scientists and engineers

◆教育内容 / Educational Pursuits

これまでの文部科学省（科学技術行政）・内閣府（男女共同参画行政）における職業経験等に基づき、キャリアプランニングやジェンダーに係る授業等を通じて、学生・院生の科学的思考力や表現力の向上を図るとともに、社会的責任・社会貢献について考え、実践する力を醸成する。

一例として、公務員の役割と仕事について文系・理系の学生を対象にキャリアデザインの観点から演習等を行い、職業イメージを形成するとともに、政策の企画・立案・分析・評価能力とともに、アカデミック、マスコミ、製造業等の他分野でも応用可能なコミュニケーション力・実現力も高める。

Based on my experiences in Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (science and technology policy) and Cabinet Office (gender equality policy), I share the information with students on my career path, social responsibilities and images of public servants in government offices. I also encourage students to conduct case exercises with regard to policy plan, doing, check and action (PDCA) for enhancing abilities on scientific way of thinking, expression, communication, negotiation and social contribution which are applicable to many professional areas not only in public administration but also in academic, mass media, manufacturing industries, etc.

◆研究計画

女性研究者の活躍促進は、国際的に共通の課題であるとともに、我が国と労働価値観・家族文化観・女性の社会参画の現状等が類似している東アジア地域においては、特に国際協力や情報交流を通じて課題対応に取り組むことが重要であると考えられる。今後は、科学技術振興調整費・女性研究者支援モデル育成事業を実施している各機関のシステム改革効果、ワーク・ライフ・バランス等の働き方、子育て支援、リーダーシップ養成、女子の理工系進路選択支援等の現状も踏まえ、国際共同研究を視野に入れて研究を進めていく。

また、今後の日本社会において、新しい社会的価値の創造（イノベーション）が重要であることから、特に、科学技術分野でのイノベーションを育む環境・制度、基礎的思考力・創造力・意欲等の個人的資質、人材育成・流動システム等について、日米の比較を中心に考察を深める。対応する政府の競争的研究資金制度の要件・規模・費用対効果等についても分析する。さらに、男女の科学技術系人材のキャリアパス支援と関連する資格認定制度等について、国際的なプロフェッショナル・エンジニア（PE）や我が国の国家資格・学会認定資格等との比較分析等に基づく研究を進める。

◆メッセージ

お茶の水女子大学には、社会・家庭・地域など様々な分野で活躍している女性の先輩（ロールモデル）が多くいます。これからの日本では、女性が、国内でも国際的にも、いろいろな場面で、より多く意思決定に参加し、現在や未来にとって大切なことを決めていくことが求められています。ぜひ、本学で学び、知識と思考力と実現力を高めてください。